



海と共に

発行 宮城県漁業協同組合 〒986-0032 石巻市開成1番27 TEL0225(21)5711 FAX0225(21)5640



● 南三陸町：袖浜漁港

主な内容

- 第28回全国豊かな海づくり大会開催
- 第10回宮城県青年・女性漁業者交流大会開催
- 塩釜漁港への白濁水排出に係る今後の対応
- 農水省、2007年度の食料需給表を発表（全漁連情報）
- 共販情報
- 主な一般経過
- 第7回経営管理委員会開催
- 第8回経営管理委員会開催
- 第9回経営管理委員会開催

「第28回全国豊かな海づくり大会開催」

仙台湾小型漁船漁業部会が水産庁長官賞を受賞



例年、天皇・皇后両陛下をお迎えして開催されます全国豊かな海づくり大会が、9月7日(日)に新潟県新潟市の朱鷺メッセを会場に、全国から約1,200名の関係者の参加のもと、「生きてる、生かされている、この海に」をテーマに式典行事等が行われました。

式典では主催者挨拶の後、天皇陛下より「二度にわたる震災を乗り越えた新潟県で開催されるこの大会が、海や漁業への関心と理解を深め、豊かな海をつくるための契機となることを願います。」とのお言葉を賜りました。

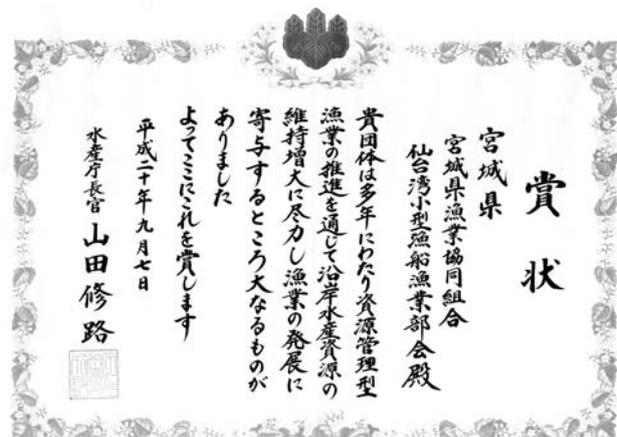
山田長官より表彰される赤間七ヶ浜支所運営委員長(右から3人目)

その後、天皇・皇后両陛下ご臨席のもと功績団体表彰が行われ、大会会長賞・農林水産大臣賞・水産庁長官賞を受賞された団体に対し表彰状が授与されました。

本県では、当漁協の漁業種別部会の1つである仙台湾小型漁船漁業部会が、漁業の発展に寄与する活動に対して水産庁長官賞に選ばれ、部会を代表して出席した七ヶ浜支所の赤間東治支所運営委員長に対し、山田長官より表彰状が手渡されました。

仙台湾においては、全国的にあまり例をみない特定海域への保護区域の設定を平成17年度から取り組んでおり、仙台湾を利用する全漁業者がマコガレイ等の資源の維持・増大を視野に入れ前向きに取り組んだ成果が認められ今回の賞に輝いたものであります。

本大会は来年度も11月に東京都で開催される予定となっております。



表彰状

第10回宮城県青年・女性漁業者 交流大会 開催



主催者より表彰を受ける受賞者

去る、8月22日(金)、宮城県・宮城県漁協青年団体連絡協議会(青年部)・宮城県漁協女性部連絡協議会(女性部)共催による「第10回宮城県青年・女性漁業者交流大会」が、県内約320名の青年・女性漁業者の参加のもと、七ヶ浜町国際村において開催されました。

本大会は、県下の青年・女性グループが生業としている漁業の研究活動・地域活動を発表することにより、各地区グループの取組みの技術の向上・研鑽を図り、沿岸漁業の振興に資することを主な目的として、昭和28年より開催(平成11年大会名変更)されている交流会です。

大会では主催者を代表して、宮城県水産技術総合センター 児玉所長並びに青年部佐藤会長が挨拶し、佐藤会長からは「漁業用燃油価格の暴騰の中、国民へ安定的食料供給を担ってきた役割を十分に果せるのか不安に駆られる状況下にあるが、以前にも増して青年部・女性部の活動は重要となっている現状を認識し、美しい海と豊かな資源を次の世代へ引き継ぐ道しるべを確立すべく努力したい。」と挨拶いたしました。

来賓祝辞では七ヶ浜町渡辺町長に続き、漁協系統を代表し宮城県漁協の阿部代表理事理事長が、「日頃より地域での取組み等を通じ、漁協系統事業の推進に大きく貢献していただいている漁青連・女性部の皆様に感謝する。浜での研究・課題が本日の発表を通じ、今後の漁業・漁村の活性化に大きな役割を果たすものと期待しており、その意味においても本大会を契機に今後も

浜の中核となり活躍いただきたい。」と挨拶いたしました。

その後、審査員の紹介及び発表上の注意点等の説明の後、下記の3青年・3女性グループがそれぞれの活動実践状況等について発表いたしました。

審査の結果、青年グループからは矢本浅海漁業研究会の津田さん、女性グループからは網地島支所女性部の小野寺さんが最優秀賞を受賞され、来年3月に開催される全国青年・女性漁業者交流大会へ、本県代表として推薦されることとなりました。

本県代表者は毎年、全国でも高い評価を得ていることから、両グループの全国大会での発表に大いに期待するところです。

また当日は、審査会の時間を有効活用し特別発表が行われ、平成19年度の「第24回みやぎ海の子作文コンクール」において、宮城県知事賞を受賞した《南三陸町伊里前小学校4年(受賞当時3年)佐藤七海さん、石巻市立寄磯小学校6年(受賞当時5年)遠藤なつみさん》2名による作文の朗読が披露され、素直な視点で漁業活動を見据えまとめた作文に会場から大きな拍手が贈られるとともに、女性部畠山会長から感動を与えた朗読に対する感謝の言葉と記念品が贈呈されました。

最後に主催者を代表し、女性部の畠山会長が「審査会の予定時間を大幅にオーバーしたことが示すとおり、全ての発表内容が評価に値するものであり、日頃の活動等に改めて敬意を表するとともに、全国大会へ出場される2グループの活躍を切に願います。」との挨拶にて交流大会を終了いたしました。



主催者と発表者

- ①私達が大事に育てた伊達のぎん
志津川支所戸倉女性部 後藤眞紀子
- ②主要養殖種の安定採苗へ向けて
女川町支所出島寺間支部青年部 須田 勝浩
- ③ノリ三期作の経済的な評価と今後の課題
～ノリの品質と単価のさらなる向上を目指して～
矢本浅海漁業研究会 津田 晃樹
- ④かきの里松島における女性部活動
—加工品販売実現に向けた取組みについて—
松島支所女性部 蜂谷ひで子
- ⑤おいでよ、網地島へ!
—活気ある島の復活を目指して—
網地島支所女性部 小野寺たつえ
- ⑥よってがいん!はまらいん!大島体験学習
—世界に輝け!みどりの真珠—
気仙沼地区大島出張所大島青年研究会 村上 広志



海の子作文発表者へ記念品の贈呈

塩竈漁港への白濁水 排出に係る今後の対応

8月11日(月)、塩竈漁港のマルハ冷蔵庫前排水溝から白濁水が排出されているのを、当漁協はじめ関係者が確認しました。白濁の状況等や、排水検査の結果はPH8～9の強アルカリ性を示すなどから、劇薬指定の苛性ソーダである可能性が高く、漁場への悪影響が懸念されました。

このため、当漁協は9月3日、齋藤経営管理委員会副会長、阿部代表理事理事長、船渡専務理事、平塚指導担当理事等7名で県を訪問し、水産加工場からの苛性ソーダ廃液等の直接放流禁止の徹底について要望すると共に、今後の対応について川村農林水産部次長らと協議しまし

た。

今後、県としては排出に関する注意喚起を図ると共に、関係者による監視体制の構築・パトロールの強化、加工・排水施設のチェックなどについて検討し、マニュアル化を図るなど対策強化に努めていくとのことでした。

当漁協としても監視への協力など検討していくこととしており、今後県と協議を重ね漁場環境保全のための取り組みを図ってまいります。

農水省、2007年度の 食料需給表を発表

—魚介類の自給率は食用で62%に上昇—

農水省は8月5日、2007年度の食料需給表を発表した。それによると、2007年度のが国の食料自給率は40%（カロリーベース）となり、前年度に比べ1ポイント上昇、又、生産額ベースの食料自給率は66%となり、前年度に比べ2ポイント低下した。

このうち水産物需給表の概要は水産庁から発表されたが、魚介類の自給率（重量ベース）は食料で62%となり、前年度の60%から2ポイント上昇。非食用を含む魚介類全体では減少したが、食用については増加。また世界的な水産物需要の増加などを背景に輸入量が減少し、輸出量が増加した結果、国内消費仕向量は減少したものの自給率を押し上げた。

食用魚介類の国内生産量は447万5千トン（5万6千トン増）輸入は346万2千トン（24万9千トン減）、輸出は74万9千トン（2万8千トン増）で、在庫の増減を加味した国内消費仕向量は724万5千トン（17万トン減）となった。

また、海藻類の自給率は71%となり、前年度の67%から4ポイント上昇した。

国民1人・1年当たりの供給純食料をみると、魚介類は31.9kgとなり、前年度の32.8kgに比べ0.9kg減少。肉類は28.3kgで0.2kg増、このうち牛肉は5.7kgで0.2kg増、豚肉は11.6kg、鶏肉は10.8kgで前年並みとなった。また、コメは61.4kgで0.4kg増、海藻類は1.1kgで0.1kgの減少となった。

（全漁連情報）

共 販 情 報

平成20年の宮城県養殖銀ざけ生産が8月9日をもって終了しました。今漁期は、生け簀への稚魚搬入が大幅に増え、前年より1割ほど増産の1万5千トン近い生産量が見込まれていました。

しかし、初水揚げ直後の3月下旬から、ほぼ1ヶ月以上に亘って低水温に見舞われ、餌を摂らなくなり、魚体が成長しない状況が続きました。5月になって水温がようやく上昇し、餌を順調に摂るようになりましたが、長期に亘っての低水温が大きく影響し、シーズン終盤の7月に入っても3.5kg上の大型サイズが少なく、平均魚体重が2.5kgに足らず、例年に比べて200g～500gほど小さい状態で水揚げされました。終盤の7月中旬以降は水揚げ尾数が増え、前年を1～2割上回る数量が水揚げされまし

たが、成長不良により最終生産量は前年の実績に届きませんでした。

価格は、近年の食品の国内産志向や、刺身などの新たな消費形態の普及、トレースの明確化などによって評価が高まり、マーケットが拡大したことから、輸入商材の供給減に伴う産地買受人の扱い意欲の向上、更に、低水温が影響した成育の遅れで、予想を覆す低調な水揚げペースによる品薄などの要因が反映され、シーズン当初から前年を上回る相場形成が続き、平均単価は過去10年で2番目の高い単価を記録しました。

現在、把握できている実績は、産地魚市場及び産地共販の水揚げ実績で、数量は9,176トン（前年9,448トン）で前年比2.9%減、金額は41億6,144万円（前年38億9,714万円）で6.8%増、平均単価は454円/kg（前年412円/kg）で10.2%高となっております。

各産地市場と産地共販水揚げ実績

単位（数量：kg、金額：円、平均単価：円、税抜き）

産地市場	数 量	金 額	平均単価
女川魚市場	4,578,573.5	2,057,115,571	449
石巻魚市場	2,938,790.0	1,342,419,613	457
産地共販	1,577,037.0	724,526,355	459
志津川魚市場	81,841.7	37,384,172	457
合 計	9,176,242.2	4,161,445,711	454
(前年合計)	9,448,052.3	3,897,142,336	412

主 な 一 般 経 過

- 7/19 仙台湾小型漁船漁業部会
 - 第3回宮城・福島実務者会議
- 22 第5回理事会
 - 省エネ推進協業体活動支援事業
 - (輪番休漁制)計画策定検討会
- 23 第1回磯根資源部会並びに
 - 第1回わかめ・こんぶ部会
- 24 第1回支所運営委員長会議
- 25 第2回支所長会議
- 30 第7回経営管理委員会
 - 石巻総合支所第2回かき部会
- 31 支所運営委員との懇談会〔石巻地区・雄勝町東部・北上町十三浜・河北町〕
- 8/1 支所運営委員との懇談会
 - 〔女川・鮫浦・谷川・泊浜・表浜〕

第3回かき部会

用船事業：第1回仙台湾浦戸東部
刺網漁業部会

- 8/2 支所運営委員との懇談会〔寄磯・前網〕
 - 4 支所運営委員との懇談会
- 〔網地島・石巻市東部〕

用船事業：第1回仙台湾巨理

小型底引き網漁業部会

- 5 支所運営委員との懇談会

〔宮戸西部・宮戸〕

漁場管理システムに係る検討会

「燃油高騰水産業緊急対策」に係る説明会

- 6 会計事務処理等の統一化に係る分科会

- 7 支所運営委員との懇談会

〔松島・塩釜市第一・浦戸東部・浦戸〕

会計事務処理等の統一化に係る分科会

- 8 支所運営委員との懇談会

- (仙台・閉上・亘理・山元)
- 協業化事業漁業者グループ研修会
- 8/11 支所運営委員との懇談会〔七ヶ浜〕
燃油高騰水産業緊急対策に係る打合せ
第1回総合支所(気仙沼・石巻)
合同ほたて部会
- 12 事務統一化プロジェクトチーム検討会
〔第3回購買事業〕
- 13 燃油高騰対策打合せ
- 18 第6回理事会
第1回JFみやぎ省燃油操業検討協議会
- 19 第3回総合支所(塩釜・石巻)
合同のり部会
事務統一化プロジェクトチーム検討会
〔第3回財務分科会〕
支所運営委員との懇談会〔石巻湾〕
- 20 省燃油操業実証事業に係る説明会
- 21 第8回経営管理委員会
気仙沼総合支所
小型漁船漁業部会秋さけ刺し網委員会
- 22 宮城・福島実務者会議
支所運営委員との懇談会(鳴瀬)
- 26 気仙沼総合支所
小型漁船漁業部会全体会議
- 27 省エネ推進協業体活動支援事業
(輪番休漁制)実施に係る説明会
七ヶ浜支所海苔養殖講習会
- 29 第2回本所わかめ・こんぶ部会
第1回総合支所合同わかめ・こんぶ部会
第1回総合支所合同かき部会
第4回本所かき部会
のり生産者研修会
- 9/1 第9回経営管理委員会
- 4 石巻湾支所のり生産者研修会
- 9 豊漁祈願祭(南部地区)
第2回JFみやぎ省燃油操業検討協議会
- 11 豊漁祈願祭(中部地区)
第2回ほたて部会
- 12 豊漁祈願祭(北部地区)
第6回監事会
- 13 宮城県小型漁船漁業部会たら操業に係る

- 関係代表漁業者による操業調整会議
- 9/18 第7回理事会
鮮かき品質検査会
大型陸上採苗機利用に係る反省会
並びに豊漁祈願祭(七ヶ浜支所)
- 19 第3回支所長並びに
第1回経理担当者会議
第1回宮城県小型漁船漁業部会
- 20 気仙沼総合支所秋さけ刺し網等委員会
- 25 平成20年度定例組員資格審査委員会
銀さけ生産者会議

第7回経営管理委員会開催

宮城県漁協は7月30日、本所に於いて平成20年度第7回経営管理委員会を開催しました。目的事項に従い会議は進められ、始めに報告事項として次の7件が報告されました。

1. 一般経過報告
 2. 第1・四半期事業実績
 3. 外部出資
 4. コンプライアンス・マニュアル等の一部変更
 5. 余裕金運用状況及び資金繰りリスク管理
 6. 融資状況
 7. 平成20年度監事監査計画
- 続いて議事に移り、次の6議案が提案説明されました。
- 第1号議案
経営管理委員の報酬に関する件
- 第2号議案
経営管理委員部門別担当制に関する件
- 第3号議案
株式会社宮城県水産会館との賃貸借契約締結に関する件
- 第4号議案
融資決定に関する件
- 第5号議案
諸規程の一部変更に関する件
- 第6号議案
100万円以上のリースに関する件
- 第1号議案は、通常総代会で経営管理委員会

に一任された経営管理委員の報酬について、8,780千円とすることの承認を求めました。第2号議案は、経営管理委員の部門別担当の承認を求めました。第3号議案は、主たる事務所(本所)及び従たる事務所(石巻総合支所)の移転並びに塩釜総合支所信用共済店舗の開設に伴い、株式会社宮城県水産会館と物件の賃貸借契約を締結することの承認を求めました。第4号議案は、定款に基づき、貸出案件調書(大口貸出先:3億円以上)のとおり貸付することの承認を求めました。第5号議案は、組織及び職制規程、経理規程並びに購買業務規程を変更することの承認を求めました。第6号議案は、経営管理委員会運営規程に基づき、リース契約を締結することの承認を求めました。

以上審議され、全議案可決承認されました。

第8回経営管理委員会開催

宮城県漁協は8月21日、本所に於いて平成20年度第8回経営管理委員会を開催しました。目的事項に従い会議は進められ、始めに報告事項として次の5件が報告されました。

1. 一般経過報告
2. 平成20年度第1回内部監査結果報告
3. 余裕金運用状況及び資金繰りリスク管理
4. 融資状況
5. 「犯罪による収益の移転防止に関する法律」等に基づく顧客等の本人確認等に関する取扱マニュアルの制定

続いて議事に移り、次の3議案が提案説明されました。

第1号議案

2007年度全漁連監査結果に対する回答に関する件

第2号議案

100万円以上のリースに関する件

第3号議案

漁業用燃油暴騰に対する緊急特別支援策に関する件

第1号議案は、経営管理委員会運営規程に基づき、全漁連監査結果に対し、「監査結果に対

する改善状況報告書」を回答することの承認を求めました。第2号議案は、経営管理委員会運営規程に基づき、リース契約を締結することの承認を求めました。第3号議案は、平成19年度宮城県漁協系統利用実績割合に応じた、A重油・軽油・ガソリンに対し、支援することの承認を求めました。

以上審議され、全議案可決承認されました。

第9回経営管理委員会開催

宮城県漁協は9月1日、石巻ルネッサンス館に於いて平成20年度第9回経営管理委員会を開催しました。目的事項に従い会議は進められ、始めに報告事項として次の1件が報告されました。

1. 役員賠償責任保険加入(継続)

続いて協議・その他に移り、次の1件が協議されました。

(イ) 4JFの今後の対応について

上記については、4JFと「一県一漁協体制の構築に係る両連合会からの脱退及び合併の理解促進に向けた取組に関する覚書」を平成19年1月に締結し、平成20年9月末(総会決議の目標期限)に向けて、これまで5回の連携会議を開催し協議を重ねてきました。総会決議の目標期限が間近に迫っており、これまでの連携会議の経過並びに4漁協に対する合併の理解促進に向けた取組等報告し、今後の合併に向けたモデルスケジュール、合併仮契約書、合併及び事業経営計画書等を協議し、今後の対応について話し合いました。

宮城県漁協 公式ホームページ開設

宮城県漁協の公式ホームページを開設いたしました。アドレスは下記のとおりです。

記

URL は <http://www.jf-miyagi.com/>

